

たが

2015年5月(第145号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



今年も かわいいお友だちが 多賀幼稚園に 入園しました。

- ・ 27年度予算を可決 …………… 2
- ・ 委員会審議 …………… 8
- ・ 予算委員会 …………… 4
- ・ 町政を問う(一般質問) …………… 11
- ・ 3月定例議会 …………… 6
- ・ たが いいところ 再発見!! …… 18

歳出

一般会計 44億

～住みやすく 魅力あるまちに～

防災・行政事務・その他

7億4,461万円

- ・総務費 6億 422万円
- ・消防費 1億4,039万円



防災訓練

借入金の返済

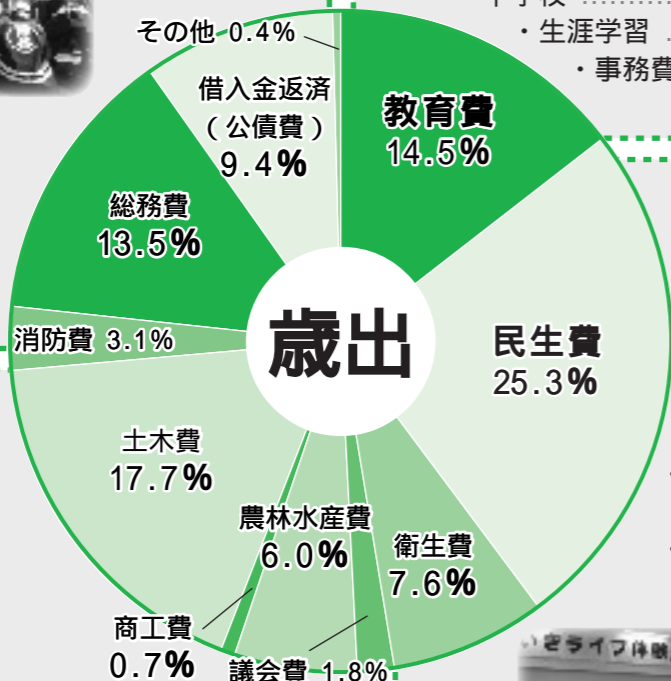
(公債費)
4億2,127万円

まちづくり

(商工・農林水産・土木など)

11億6,635万円

- ・土木費 7億8,873万円
- ・農林水産業費 2億6,943万円
- ・商工費 2,964万円
- ・議会費 7,855万円



ゾーン30

教育・生涯学習

(学校教育など)

6億4,947万円

- ・幼稚園 4,711万円
- ・小学校 1億4,072万円
- ・中学校 8,823万円
- ・生涯学習 2億9,006万円
- ・事務費 8,334万円



デジタル教科書

健康づくり・福祉

(保育、介護、医療、障害福祉など)

14億6,783万円

- ・民生費 11億2,823万円
- ・衛生費 3億3,960万円



いきいきライフ体験塾

特別会計・企業会計の予算が可決されました。

区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
国民健康保険	9億3,058万円	3.5	療養費、出産一時金、特定検診
介護保険	7億7,300万円	4.5	介護給付、介護予防、地域包括支援
後期高齢者医療	9,537万円	2.8	医療広域連合への負担金
育英	478万円	18.4	奨学資金の給付
工業団地公共緑地維持管理	727万円	28.9	草刈作業委託
芹谷栗栖地域振興	3億2,514万円	2.6	上水道、集落道整備、地域おこし協力隊

約3億円増

6,700万円

自主財源は21億円

歳入

27年度予算を可決

借入金(町債)

5億300万円

- ・教育福祉施設整備 9,270万円
- ・防災・減災事業 910万円
- ・臨時財政対策債 2億4,000万円
- ・その他 1億6,120万円

その他 0.1%

町税

17億8,954万円

- ・住民税(個人) ... 3億1,900万円
- ・住民税(法人) ... 3億 702万円
- ・固定資産税 ... 10億9,172万円
- ・軽自動車税 2,260万円
- ・たばこ税 4,800万円
- ・鉱産税 120万円

地方交付税

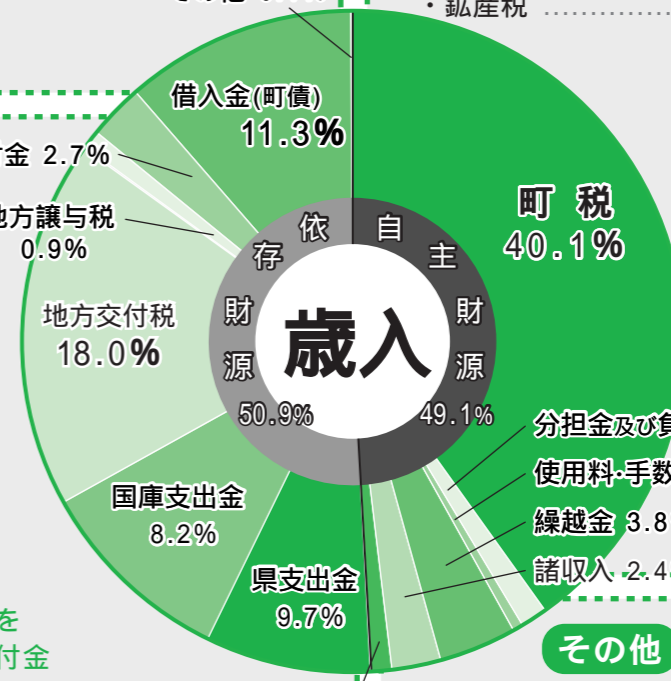
市町村の
均衡をはかる
ための交付金
8億
600万円

国庫支出金

道路・橋など
国が使用目的を
特定した交付金
3億6,735万円

県支出金

教育・農林業など
県が使用目的を
特定した交付金
4億3,125万円



- 分担金及び負担金 1.3%
- 使用料・手数料など 0.5%
- 繰越金 3.8%
- 諸収入 -2.4%

その他

4億164万円

- ・前年度繰越金 3,000万円
- ・他会計繰入金 1億6,906万円
- ・分担金・負担金 5,817万円
- ・使用料・手数料 2,191万円
- ・諸収入 1億 571万円
- ・寄付金 1,181万円
- ・財産収入 498万円

区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
下水道	4億5,137万円	8.1	下水道維持管理、清掃委託、負担金
農業集落排水	5,433万円	2.2	施設(2カ所)の監視・清掃業務委託
多賀財産区	15万円	23.0	議会費、財産管理費
大滝財産区	116万円	12.4	議会費、財産管理費
霊仙財産区	17万円	0.0	議会費、財産管理費
水道事業	8億4,707万円	4.9	水道使用料、老朽管更新、道路復旧

おもな予算項目	(万円)
町ホームページ関連	327
税のコンビニ収納導入	14
ふるさと納税 記念品	550
税番号制度 導入	2,331
公共施設管理計画	820
6町行政システム共同利用	2,297
川相消防センター設計	270
木造住宅耐震事業	634
自警団消防設備整備	1,302
防犯灯設置委託	278
「広報たが」発行	550
選挙費(町長、県・町議会)	1,269

防災・行政事務

(消防費・総務費)

答 マイナンバー制度が円滑に導入されるための電算システム整備を進める。

税番号制度の導入
予算の内訳は

答 住民税、上下水道料などの納付を、コンビニでもできるようにすること。納付場所を増やすことで、滞納を減らしていく。

税のコンビニ収納の内容は

答 現状では小型の消防車しか格納できない。中型以上の消防車を格納できるように設計依頼する。

川相消防センターの計画は

答 950人である。内訳は、1万円の納税が800人。5000円の納税は150人である。半額分を記念品にあてる。

ふるさと納税記念品の対象者数は

答 クラウドと呼ばれる、県内6町で、行政情報システムを共同利用することで、経費の節減を図る。

行政システムの内容は



川相消防車庫

おもな予算項目	(万円)
まちづくり活動交付金	2,100
町制60周年事業	600
観光推進事業	582
森林環境学習(やまのこ)事業	914
高取山施設補修	150
登山道整備	45
間伐材有効活用事業	519
農業振興	1,575
獣害防止対策事業	3,536
庁舎太陽光発電設置	2,600
除雪対策	2,135
道路改良・補修	3億5,154

まちづくり

(商工費・農林水産業費・土木費)

答 観光協会運営費、観光客誘致促進、ささゆり娘の活動費、総踊り等の活動に当てられる。

観光推進事業の内容は

答 11月に式典を計画している。キリン製品の空き缶で巨大モニユメントを作成する。60年の歩みを製本する。

町制60周年記念事業の内容は

答 新生児を対象にお食い初めセットを贈る。学校に学習机を整備する。

間伐材有効活用事業の内容は

答 鍋尻山の登山道を修繕する。他の山でも、遭難防止のために道標を設置するなど対応していく。

登山道整備対象箇所は

答 高取山宿泊施設の各部屋に連絡用のビジネスフォンを設置する。おもに部屋間の連絡に用いる。

やまのこ事業施設補修の内容は



木製 お食い初めセット

教育・生涯学習

(学校教育費・社会教育費)

答 小学校に200万円、中学校に50万円を予算計上した。最新の機器を授業に活かしたい。

デジタル教科書購入の内訳は

答 生徒8人、先生2人分の予算である。生徒の視野を広げ、国際力を高めることを目的としている。

中学生海外研修の内容は

答 建設に向けた基本設計、建設用地拡幅のため隣接する土地を購入費などである。

中央公民館整備予算の内訳は



石仏谷遺跡

答 石仏谷、多賀大社奥書院、胡宮神社社務所の庭園である。国の補助も得ながら進めていく。

文化財保存の対象施設は

答 青少年の健全育成を目的としている。少年団、体育協会に補助をし、優秀者には激励もする。

スポーツ団体への補助は

おもな予算項目	(万円)
出産・育児助成	178
妊婦健診・不妊治療助成	878
児童手当支給事業	1億2,585
ささゆり保育園増築工事	1億 300
子育て世帯臨時交付金	270
臨時福祉給付金	1,366
「ワンコイン」検診	3,722
福祉医療助成	7,638
高齢者福祉事業	3,317
障害者自立支援	1億4,182
障害児童放課後クラブ	900

健康づくり・福祉

(民生費・衛生費)

答 待機児童を出さないように、乳幼児向けの施設を増築する。

ささゆり保育園の増築工事の内容は

答 3歳未満と3子以降は、1万5千円。3歳から中学校卒業までは、1万円を支給。(特例給付は5千円)

児童手当の支給内容は



ふれあいの郷3階娯楽室

答 ふれあいの郷3階娯楽室での開設を予定している。運営は社会福祉法人に委託する。

障害児童放課後クラブの運営方法は

答 がん検診、生活習慣病予防検診を、一律500円で受診できる。受診率の向上を図る。

ワンコイン検診の内容は

答 消費税率引き上げの緩和策で、国の制度により今年度も支給する。

臨時福祉給付金は継続されるのか

3月定例議会 3/4 3/24

新年度の事業を審議

27年度の当初予算を審議・可決しました。

- 同意 1件
条例 18件
指定管理 2件
予算(26年度) 5件
予算(27年度) 13件
請願 1件
選挙(一部事務組合) 1件

一般会計 44億6700万円

特別会計

国民健康保険事業など 11会計(2ページ)

企業会計

水道事業 8億4707万円

放課後児童クラブの対象が拡大されます。

6年生までの児童が利用可能に

- 負担金が決まりました
基本月額 5000円
(2人目以降は半額)
追加料金
春休み・夏休み 2500円
早朝・延長保育 100円(30分)



放課後児童クラブの様子

教育委員会制度が変わります。

教育委員長と教育長が一本化に

- 新「教育長」が任命されます
現教育長の任期満了後(任期は3年)
町長が直接任命(責任の明確化)
「総合教育会議」が設置されます
会議は公開が原則
意見聴取者の参加を要請できる。



絵馬通りが大規模改修されます。

歩行者にやさしい道を基本理念に

- 道路舗装
石、タイル、コンクリート平板を用いる。(石畳調に)
道路狭く設置
ベンチ、街路灯、ポールの設置(取外し可)
側溝改修
景観に配慮した側溝



絵馬通りイメージ図

中央公民館整備検討委員会の報告

意見交換や視察の様子を報告

- (26年8月～27年1月)
生涯学習あり方検討委員会が検討結果を報告
可動式座席・ステージを視察(近江公民館、湖北文化ホールなど)
子育てサークル「パオパオ」、子育て支援サークル「たんぽぽ」、社会福祉法人杉の子会、杉の子作業所との意見交換



中央公民館整備検討委員会の様子

補正予算を審査・可決

地域創生を目指す国の経済対策を受けた補正予算。一般会計 1921万円(26年度一般会計補正予算)

Table with 2 columns: おもな事業名 (万円), Amount. Items include Premium Voucher (520), Tourism Voucher (580), etc.

問 プレミアム商品券とは。

答 1万円で、1万2千円の買い物ができる商品券。使用できるのは町内の商店に限る。住民みなさんの地域での消費喚起につなげる。

問 観光振興券とは。

答 プレミアム商品券は住民対象で、観光振興券は観光客にも買っていたら、消費喚起、地域振興につなげる。500円の振興券で「地獄めぐり」と500円分の買い物が可能。

絵馬通り活性化事業

問 事業の内容は

答 「地獄めぐり」の広告宣伝、看板づくりを観光協会に委託する。

空き家バンク制度

問 再開されるのか。

答 中古住宅の購入者に50万円の補助をする。特に大滝地区の過疎化に役立てたい。

地方再生計画策定

問 内容は

答 多賀町の場合、林業・農業・観光を中心にまちづくりを考える。

町産木材流通実証

問 これまでの成果は。

答 昨年度は木造のバス停を作った。木材の強度も調べる。



木造のバス停(あけぼのパーク前)

特別会計

国民健康保険事業 1867万円(増)

介護保険事業 578万円(減)

後期高齢者医療事業 40万円(増)

芹谷栗栖地域振興事業 9425万円(減)

減額の理由は、地域おこし協力隊の退任、舗装や防雪事業の繰越しによる。

施設管理者を指定しました。

- 高取山ふれあい公園
大滝山林組合
多賀町デイサービスセンター
多賀町社会福祉協議会
大滝山林組合の議員に選出されました。

大滝財産区の委員が選任されました。

- 大道 信男氏
古屋 勝博氏
辻田四郎行氏
小林 外二氏
西河 仲市氏
木下 秀行氏
中居 幸生氏

町長の行政報告

子育て・教育

少子化を止めるためにも、若者定住や子育て支援を充実させていく。教育では、小中学校にデジタル教科書を導入する。放課後児童クラブの利用も拡充する。

農業・林業

獣害柵の整備が完了した。サルなど有害鳥獣の駆除・捕獲に努める。町産木材の利用と流通を目指す。木製机、木製の食いちめセットを製作・配布する。

健康づくり・福祉

各種検診の低額化で病気の早期発見を図る。福祉では、小規模多機能型施設や、障害児童放課後クラブを整備する。

まちづくり

昨年度は2町道が完成した。今年度は、絵馬通りの改良工事を実施。観光、集落づくり、若者定住に重点を置く。



安全・安心な水道水の提供(漏水工事)

安全・安心の まちをめざして

産業建設常任委員会

3/13

閉会中の調査

2/2

27年度特別会計当初
予算を審査しました。

荊谷栗栖地域振興事業
3億2514万円

問 地域おこし協力隊の
現状は。
答 3人が活動している。
昨年は米や野菜の収穫
があった。農作業を通
じて住民との交流が深
まっている。

問 荊谷防災センターの
活用は。
答 新たに荊谷自警団が
結成された。その詰所
として活用されている。
問 27年度の事業は。
答 防雪、獣害対策、集
落道整備である。

下水道事業
4億5137万円

問 下水道の使用料収入は
約2億1000万円
を見込んでいる。

問 借入金の返済は。
答 元金分で約2億円。
利子分で約7000万
円の返済をする。

問 委託業務の内容は。
答 ポンプ監視、清掃
検査業務などである。
水道事業
8億4707万円

問 上水道の使用料収入は
約2億3000万円
を見込んでいる。

道路改良、獣害対策を
調査しました。

絵馬通り
道路改良工事

問 改良工事の範囲は。
答 27年度は、多賀大社
正面の鳥居前からかぎ
楼までを予定している。

問 古例大祭時は。
答 ベンチなどは取外し
可能である。
問 現在の消雪設備は。
答 現状のまま使用。

問 道路狭さく箇所は。
答 鳥居前からかぎ楼前
までに限る。
問 費用の負担は。
答 国と県に求めていく



改良予定の絵馬通り

サル捕獲に向けた
獣害対策

27年度駆除の取組み
追い払い

・職員による追い払い
・群れの追跡調査
・有害鳥獣駆除
・銃、罠による捕獲
・困り罠5m x 5m、
自動検知システムの
遠隔操作による捕獲
集落環境点検



サルの行動を追跡

問 ニホンザルの群れの
数は。
答 全体では11群。大き
な群れは3群。ほかに
ハグレのサルがいる。
問 困り罠の効果は。
答 捕獲数が増えている。
群れのある場所に設置
している。

問 集落環境点検とは。
答 サル出没時の頭数報
告と花火などによる追い
払いをお願いする。

子ども・子育て 新制度

総務常任委員会

3/12

閉会中の調査

2/5

3月定例会議会で付託
を受けた条例5件、予
算3件、請願1件。

条例

職員の給与に関する
条例の一部改正
人事院勧告による
2%引き下げ
介護保険条例の
一部改正
介護保険の見直し。
・基準保険料
4700円
5500円
・7段階 10段階
新制度に伴う整備
町立幼稚園使用料
条例の一部改正
3歳児～5歳児
6500円
満3歳児
7000円
保育の実施に関する
条例の廃止

請願

年金のマクロ経済
スライド発動中止の
意見書採択を求める
請願。(不採択)

後期高齢者医療事業
9536万円

問 社協がデイサービス
をやめる理由は。
答 他の事業所が多く、
経営状況が厳しい。
問 別懇談会でもテーマに。
答 課題が共通する。字
別懇談会でもテーマに。
係は。



新しい福祉バスに

27年度 特別会計
国民健康保険事業
9億3058万円

問 国保のピークは。
答 団塊世代が退職され
て国保に入られたとき。
問 人間ドックは続けて
受けられるか。
答 受診できる。

介護保険事業
7億7300万円

問 介護事業委託は。
答 清流の里、犬上ハ
トルセンター！

問 地域との連携は。
答 3集落でモデル事業
を始めた。



福祉の現状について
調査しました。
地域福祉計画の
取組み状況

問 26年度から30年度まで
の5カ年計画
26年度からの社会福祉
協議会の事業計画
・通所介護(デイサービ
ス)から訪問介護へ

問 26年度から30年度まで
の5カ年計画
26年度からの社会福祉
協議会の事業計画
・通所介護(デイサービ
ス)から訪問介護へ

問 26年度から30年度まで
の5カ年計画
26年度からの社会福祉
協議会の事業計画
・通所介護(デイサービ
ス)から訪問介護へ

問 弁当配達、移動販売
など買い物支援は。
答 県下では注文を聞いて
配達されている事例
がある。

問 除雪支援は。
答 集落除雪の拡大。
高齢者福祉・
介護保険事業計画

問 国の動向として資産
を勘案とあるが。
答 預貯金だけ。
問 今後の事業量予測は。
答 3年で4億9900
万円の見込み。

問 困り罠の効果は。
答 捕獲数が増えている。
群れのある場所に設置
している。

問 集落環境点検とは。
答 サル出没時の頭数報
告と花火などによる追い
払いをお願いする。

3月定例議会では11人が登壇
町政の将来を見据えて
一般質問を行った。

- 1** 菅森照雄…………… P12
地方創生・活性化の取り組みは

- 2** 川添武史…………… P12
獣害対策は
地域福祉の充実を

- 3** 富永 勉…………… P13
町道小森池線に道路照明灯を

- 4** 大橋富造…………… P13
インフルエンザによる学級閉鎖時の対応は
橋梁長寿命化事業の進捗は

- 5** 山口久男…………… P14
子ども・子育て新制度は
予防接種事業の助成を
住環境整備と耕作放棄地対策は

- 6** 原田亀雄…………… P14
「日本遺産」登録申請の経過と今後は
多賀町のグランドデザインの策定は
平成27年度の予算編成の方針は

- 7** 竹内 薫…………… P15
地域防犯システムは

- 8** 土田一善…………… P15
老人ホームへの入居方法は
がんばる商店応援補助金は
ふるさと納税の実績と今後の取り組みは

- 9** 深田治夫…………… P16
県道上石津・多賀線改良は
町道富之尾・敏満寺線の改良は
「多賀そば」への助成は
人口減少対策は

- 10** 川岸真喜…………… P16
医療・介護の充実を
通学路に赤色回転灯を
役場庁舎内の土足化を

- 11** 田畑喜久弘…………… P17
マイナンバー法とは
国民健康保険制度は

3月定例議会

町政を問う

一般質問は11人が質問



気軽に懇談しませんか？

議会改革特別委員会では、議会の活性化について継続的に検討しています。議会活動の充実を図るため、各集落や各種団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付していたします。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局 ☎ 48-8126
(有線) 2-2011



社協との懇談会

介護保険の変更により、平成15年より行ってきた通所介護事業が、27年度をもって終わり、支え合いの仕組みづくり事業、生活困窮者自立支援事業、住民のニーズ調査事業等が新たに開始されます。

「地域福祉の今後」をテーマに

社会福祉協議会との懇談をしました。

社協との懇談会

1/27

民生委員は33人。地域では子どもから高齢者、障がい者と多岐にわたり、問題が出ています。なり手がなく苦労をしている。
社協独自の財源は、1世帯10000円で、そのほとんどを事務経費に使う。新たな事業をやるにも財源がない。

多賀清流の里は定員50人で、すでに一杯。近くには、空き家も多く、施設化すれば入所者の増加も図れるが、地権者との関係もあるので難しい。

介護事業から、本来の地域福祉事業を戦略的に行う。

貴重な意見の一部を紹介しました。

社会教育委員との懇談会

2/23



社会教育委員との懇談会

社会教育委員は、年々、3回程度の会議を持ち、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言する職務を行う。学校教育、社会教育、学識経験者から組織されている。今回、8人の方と活発な意見交換ができました。

「人づくり、絆づくり、地域づくりの推進」をテーマに

社会教育委員との懇談をしました。

以前は、中央公民館でのサークル活動が活発だったが、このところ急激に衰退していると聞く。運営面（人やお金）に、もっと力を入れてほしい。
青少年育成はあいさつ運動を基本に、小学生にあいさつ運動をしている。役場の職員も取り組んでほしい。

多賀やまびこクラブはNPO法人で、補助金がなく、会員の入金と年会費で賄っている。資金繰りが一番の悩みである。

教育委員会に助言と指導をできるが、意見交換の場がない。

貴重な意見の一部を紹介しました。



地域創生・活性化の取り組みは —町長— 国の制度を有効に活用

菅森 照雄

国は少子高齢化、人口減少に伴い地域の人口流出などをくい止める地域活性化を進めようとしている。本町においても独自の取り組みが重要と考

本町の取り組みは、スーパードラッグの誘致は、新規開業、住宅建築などの補助金の上乗せは、

町長 プレミアム商品券、観光振興券の販売。地域版総合戦略、子育てハンドブックの作成。必要性や可能性について検討する。現時点では継続事業として取り組む。



子育てハンドブック

質問 1

町道小森池線に道路照明灯を —町長— 防犯灯を地元と検討協議



富永 勉

町道小森池線は昨年5月末に全面開通した。冬期は夕方から真っ暗な状態。道路照明灯、防犯灯は犯罪防止や抑制から防犯カメラ同様に重要な役割を果たす。街路灯は2種類に分れ、防犯灯は、犯罪防止の環境整備。一方、道路照明灯は夜間、安全で円滑な道路交通を確保するもの。道路照明の基準では道路管理者が道路照明を整備する場合に適用するが、道路の周辺状況から設置基準に適用しないのか、適用であれば、早期の道路照明灯の設置が必要ではないのか。

町長 基準に照らし合わずと市街部の道路でなく、特に自動車交通量が多い道路でもないため基準適用とはならないと考える。国道306号から小森池までの山間区間は県立自然公園に指定、同時に動植物保護の観点から照明について制限がかかる。道路照明設置は問題があり、それ以外の区間でも優良農地が広がり、漏れ光による作付けへの影響も懸念。何らかの灯りは必要と考えが道路照明の設置予定はない。しかし、防犯灯は今後状況判断し地元とも協議検討していきたい。



町道小森池線

獣害対策は —産業環境課長— 自動捕獲装置を設置

川添 武史

二ホンザル保護管理地域実施計画が県に申請され、本年修正し捕獲檻の



設置が決定された。大きなもので5m x 5mと聞いている。工業団地の皆さんからも獣害被害の苦情を聞いている。本町では恒久柵を奨励し設置してきた。ハグレザルの捕獲も検討し、木製檻の作成もされている。3月末までに設置と聞いたが現況は。工業団地内での検討は。有害鳥獣捕獲のうち、サルは町長の判断で可能となっているが。

産業環境課長

「第5次多賀町総合計画」の中で、保健、医療、福祉、教育、などと連携し地域福祉推進体制の充実に図るため、「地域福祉計画」が策定された。本年、社会福祉協議会も「地域福祉活動計画」を策定予定である。「地域支え合い健康長寿たがのまちモデル事業」の内容は。



サルを捕獲する囲いわな

質問 1

インフルエンザによる 学級閉鎖時の対応は —教育次長— 外出を控えて家庭で

大橋 富造



行政では予防接種案内、接種補助やアルコール消毒等の感染拡大防止の措置がとられている。インフルエンザ感染者の発生時の閉鎖基準は、各施設内の感染予防対策と発生状況の実態は、閉鎖後の対応として就業家庭が大半で何らかの施策はあるか。

教育次長

今後の事業計画は、町内には2m以上の橋が143橋。近接目視による初期点検の結果から、27年度以降の計画は。

地域整備課長

例年、冬場にはインフルエンザ感染が広がる。各家庭では予防と自己管理に徹しておられる。

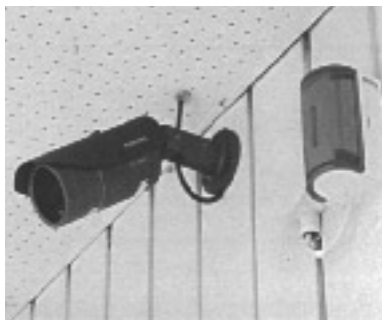
質問 2

橋梁長寿命化 事業の進捗は

質問 2



湖東定住自立圏病児保育「こあら」



保育園防犯カメラとモニター

質問1 地域防犯システムは希望があれば検討

—総務課長—

竹内 薫



最近、各地で頻繁に起こっている、凶悪犯罪や窃盗事件、空き家への放火等が、テレビで報道されている。その中で、防犯カメラは、犯人の早期割出し、早期逮捕など、犯罪抑止効果に大きな役割を果たしている。

また、空き家も年々増え、犯罪の抑止の意味でも、今後、当町でも防犯計画が必要であると考えられている。地域防犯計画の考えは、

集落への設置は、希望いただいた、八重練、南後谷、栗栖、四手、土田の5集落に設置した。集落や地域のご理解がなければ安易に設置できない状況である。集落で希望があれば検討したい。

質問1 子ども・子育て新制度は認定こども園も選択肢の1つ

—教育総務課長—

山口 久男



子ども・子育て支援新制度

現状と今後の対応は幼稚園・保育園の入園・入所予定人数は、ささゆり保育園の待機児童数は、新年度の保育料は、幼稚園の預かり保育時間延長は、両幼稚園の改修計画は、

教育総務課長

定期予防接種率は、任意予防接種の状況は、子どものインフルエンザ予防接種の補助は、

質問2

予防接種事業の助成を

定期予防接種率は、任意予防接種の状況は、子どものインフルエンザ予防接種の補助は、

福祉保健課長

3、4種混合で55・7%、2種混合で92・5%、風疹・結核100%、日本脳炎73・9%他。行政が関わっていないため、把握できない。任意接種に対しては助成がない。

質問3

住環境整備と耕作放棄地対策は

獣害や耕作者の高齢化等で大変難しいが具体的な取組みを検討する。空き家対策に関する条例の整備および適正な管理計画の策定を検討する。

企画課長

質問1 「日本遺産」登録申請の経過と今後は文化遺産の掘起しを

—町長—

原田 亀雄



生涯学習課長 忍者の聖地、赤備えの街など、認定候補が決定し、当町は外れた。

町長

認定に関わらず文化遺産の掘起しを進めたい。

質問2

多賀町のグランドデザインの策定は

10年後のあるべき姿は、グランドデザインした基本構想と位置づけは、

町長

総合計画の前期5年の検証を踏まえ、後期計画、地方創生、総合戦略策定を通して取組むべき指針を策定したい。

第5次総合計画を基本に整合性を図りながら予算編成をし、施策の展開を図りたい。

質問3

平成27年度の予算編成の方針は

削減可能自治体に該当したことを踏まえ、次年度に反映され、また、第5次総合計画の目標値との整合性は、

町長

強い危機感を持ち、早くから子育て対策の充実と人口減少での取り組みを図ってきた。人口減少対策等の施策を盛り込んだ計画で編成した。総合計画の策定から5年目を迎え、前期実施計画を検証評価し、実現をより確かなものとする年と位置づけている。



犬上ハートフルセンター



清流の里

質問1 老人ホームへの入居方法は入所検討委員会で決定

—福祉保健課長—

土田 一善



外1人、計80人。清流の里は、町内22人、町外28人、計50人。入所検討委員会で審査・決定。介護状態、所得状況、施設ごとに料金表が公表されている。重複しているのが正確ではないが、犬上で31人、清流の里で33人。

質問2

がんばる商店応援補助金は

実績と利用状況は、補助金を受けた施設の利用には制限があるのか。

総務課長

13市6町と県、合わせて2132件、8827万円余りであった。今年度は、1110万円を計上している。お米が殆どで、地酒セツト、ペレットがある。一般会計報告のみで、今後は、広報誌への掲載など検討したい。

福祉保健課長

犬上ハートフルは、町内21人、町外58人、県

入居者の地区別の人数は、入居基準と料金は、町内の待機人数は、

質問1

マイナンバー法とは

—税務住民課長—

迅速で正確な手続の実現へ

田畑 喜久弘



マイナンバー制度

条例による利用可能な制度導入の意義とスケジュールは、

税務住民課長
正式名称「行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律」である。公平、公正な社会を実現させるために導入される制度。

27年10月から番号通知開始。28年1月から個人番号の利用と個人番号カードの交付が開始される予定である。

国民健康保険 制度は
運営の主体が県に移行することによって、住民への影響はあるか。値上がりとならないか。

質問2
国民健康保険 制度は
国民皆保険が堅持できるように、法案が提出された後、30年度から県が主体となり安定化を図るようになっていく。

税務住民課長
具体的数字は今後の決定事項となる。町としては情報収集に努め、的確に対応していきたい。

質問1

県道上石津・多賀線改良は

—町長—

状況を確認要望する

深田 治夫



多賀そば

県道でありながら幅員が狭く通行に支障がある。杉・保月地先の改良は、

町長
改良が必要ならば待避所設置や急カーブ解消で対応すべきと考えている。県も放置しているわけでもないの、地元要望など有れば、状況を確認要望していきたい。

質問2
町道富之尾・敏満寺線の改良は
最優先に取り組む考えは。

町長
地元からの強い要望が挙がってくるか、町民の皆さんが必要とされているか、見極めていきたい。

質問3
「多賀そば」への助成は
今ようやく名前が知られるようになった。多賀名物としての助成は。

町長
本町の特産物として推奨していることから交付金の上乗せ助成、総額290万円の助成を見込んでいる。

質問4
人口減少対策は
地方創生の事業として富之尾地先に住宅用地の実現は。

町長
この地域は大半が農業振興地域の優良な農地で、すでに、ほ場整備事業も完了し、住宅地造成のため除外することは困難と考える。

質問1

医療・介護の充実を

—副町長—

在宅医療・介護を進める

川岸 真喜



今後10年間で高齢化はさらに進む。医療・介護・生活支援を一体的に充実させなければならない。

近隣の介護施設への入所について、多賀町在住者の優先枠はあるのか。また増枠の予定は。自宅でも期を迎えたい人は多い。看取りの体制は、在宅ですすめるのか。

福祉保健課長
優先枠はないが、町内施設への申込みの際、地域性のポイント加算がある。現在、施設の新設など増枠の予定はない。

質問2
通学路に赤色回転灯を
教育総務課長
他の方法も提案されているが、県に要望できていない。通学路安全推進会議で有効な安全対策が決まれば県に要望する。

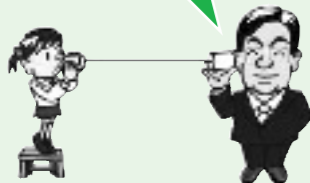
質問3
役場庁舎内の土足化を
スリッパでの移動は、安全性、災害時の初動態勢の点から適切でない。土足化の考えは。

総務課長
メンテナンスの点から土足化しない。災害時には臨時的な措置として判断する。

視聴・傍聴アンケート

昨年の定例会から、視聴・傍聴された皆さまにアンケートのご協力をお願いしています。

あなたの声を お寄せください



3月定例会でいただいた意見を紹介します

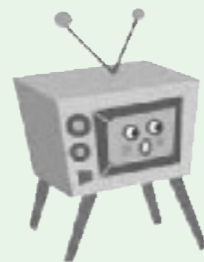
傍聴者が少ないのでは。ここでしか味わえない臨場感があり良かった。県道、町道の場所や改良内容がわかりづらい。質問要旨が整理され理解しやすい。質問が抽象的でわかりづらいものがあった。ホームページでの議会日程を早く掲載してほしい。

傍聴者総数 ... 6人
回答者 ... 4人
回答率 ... 66%

テレビ中継

庁舎1階ロビーに設置の大型テレビに、本会議の様子を放映しています。お気軽にお立ち寄りください。

また、傍聴アンケートに、皆さんの声を聞かせください。



アンケートに 答えてね



「くすのきセンター」彦根市保健・医療複合施設

たがいいとこ再発見!!

第4回

敏満寺と
猿木

敏満寺

田中 栄一さん

Q 集落のいいところは。

A 住民・世代間の団結力があります。行事への参加も積極的で、各種団体の活動にも協力的です。

Q どんな伝統行事？

A 胡宮神社の春祭りとして、二十日講です。

《胡宮神社春祭り》

宵宮には、子ども神輿が2基、御旅所まで往復します。



伝統
継承

猿木

古川 良治さん

Q 集落のいいところは。

A 住民間のまとまりがあります。若い世代が「イキキサロン」をひらいて、高齢者と楽しく交流しています。

Q どんな伝統行事？

A 猿木神社の春祭りとして、五月休みです。

《春祭り》

宵宮は、青年団が太鼓をたたいて字内を回り、盛り上げます。本宮は、神楽と湯を上げて五穀豊穡を祈願します。

《五月休み》

田植えが一段落した5月に、巫女さんの神楽を奉納し、五穀豊穡を祈願します。

大晦日、住民全員で除夜の鐘をつきます。お寺には戦時中の供出で、永い間、鐘がなく平成4年に住民の協力で再建し、それ以来、続けています。



猿木神社



西光寺の梵鐘



猿木区誌

※集落の歴史を「猿木区誌」にまとめました。

議会を傍聴してみませんか？ 6月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
6月8日	8日(月) 9:30~ 議案審議
6月22日	9日(火) 9:30~ 一般質問
(15日間)	22日(月) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126
(有線) 2-2011

原稿募集!!

あなたの住んでおられる地域の自慢をお聞かせください。

【応募資格】 多賀町にお住まいの人
【応募方法】 200字程度
【募集期間】 平成27年7月6日(月)

◎地域の魅力を再発見できるコーナーをめざし、取材や写真撮影も伺います。
◎議会事務局までご連絡ください。



たがいいとこ再発見!!

編集後記

満開の桜の下、入学式も終わり、野山では、新緑が目に見える季節となりました。春は、季節の変わり目で、体調を崩しがちです。皆様も体に十分ご自愛ください。竹内 薫記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48)8126 FAX0749(48)8131
有線 2-2011

ホームページ http://www.tagatown.jp
E-mail sikai@town.taga.lg.jp